

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年6月10日(2021.6.10)

【公開番号】特開2019-195527(P2019-195527A)

【公開日】令和1年11月14日(2019.11.14)

【年通号数】公開・登録公報2019-046

【出願番号】特願2018-91625(P2018-91625)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年4月22日(2021.4.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域に設けられた始動口への入球に起因して導出表示を行い、該導出表示の結果に基づいて遊技者に有利な大当たり遊技状態に制御可能な弾球遊技機であって、

前記導出表示に応じた変動演出を表示する演出表示装置と、

前記始動口へ入球しながら未だ開始されていない前記導出表示に関する情報を記憶する保留記憶手段と、

前記保留記憶手段が記憶する前記情報の数に応じて前記演出表示装置に保留図柄を表示する保留図柄表示手段と、

前記導出表示を開始する前に前記情報を先読み判定する先読み判定手段と、

異なる大当たり期待度を示唆する複数の前記保留図柄と、

前記保留図柄を異なる大当たり期待度の前記保留図柄に変化させる表示態様変化手段と、を備え、

複数の前記保留図柄を複数のカテゴリーに分類し、少なくとも1つの該カテゴリーには複数の前記保留図柄が分類され、

前記表示態様変化手段は、同一の前記カテゴリー内では大当たり期待度の示唆が確定する前記保留図柄の変化は行わず、同一の前記カテゴリー内での前記保留図柄の変化は異なる前記カテゴリーの前記保留図柄への変化の予兆として行う予兆演出となり、該予兆演出を繰り返すほど、大当たり期待度の高い前記保留図柄に変化する

ことを特徴とする弾球遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

請求項1記載の弾球遊技機は、

遊技領域に設けられた始動口への入球に起因して導出表示を行い、該導出表示の結果に基づいて遊技者に有利な大当たり遊技状態に制御可能な弾球遊技機であって、

前記導出表示に応じた変動演出を表示する演出表示装置と、

前記始動口へ入球しながら未だ開始されていない前記導出表示に関する情報を記憶する保留記憶手段と、

前記保留記憶手段が記憶する前記情報の数に応じて前記演出表示装置に保留図柄を表示する保留図柄表示手段と、

前記導出表示を開始する前に前記情報を先読み判定する先読み判定手段と、

異なる大当たり期待度を示唆する複数の前記保留図柄と、

前記保留図柄を異なる大当たり期待度の前記保留図柄に変化させる表示態様変化手段と、を備え、

複数の前記保留図柄を複数のカテゴリーに分類し、少なくとも1つの該カテゴリーには複数の前記保留図柄が分類され、

前記表示態様変化手段は、同一の前記カテゴリー内では大当たり期待度の示唆が確定する前記保留図柄の変化は行わず、同一の前記カテゴリー内での前記保留図柄の変化は異なる前記カテゴリーの前記保留図柄への変化の予兆として行う予兆演出となり、該予兆演出を繰り返すほど、大当たり期待度の高い前記保留図柄に変化する

ことを特徴とする弾球遊技機である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】